

トラックからの墜落防止のための参考事例

新潟労働基準監督署

冬期間、トラックの上に雪を載せたまま走行させると、ブレーキをかけた時、車両上部から雪が落下し、運転の支障になり危険である。また、カーブ道及び交差点で旋回した際に、他の自動車等に落雪が当たる危険性がある。そのため、トラック上部を除雪する場所を設定し、作業する労働者の墜落防止対策を図った事例を紹介する。

ウイング車などのトラックの上部に積もった雪を降るため、トラックの上部に上がって除雪する。しかし、労働者が墜落する危険性が高いため、事業場の敷地内に墜落制止用器具を取り付ける設備（ワイヤーロープにて親綱を張る設備）を設置した。この設備の下にトラックを停車させ、労働者が墜落制止用器具を親綱に取り付けトラック上部の雪を落とすこととしている。

ワイヤーロープ（親綱）



倉庫内から階段を使用し、この場所から墜落制止抑止用器具を取り付けてトラック上部に上がり除雪する

